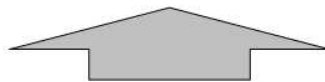


事務事業名 高額介護サービス費

出力日：令和02年03月19日

キーコード：804

施策：	10	高齢者福祉の充実	財務コード	16020301-01-00
基本事業：	06	介護保険の適切なサービス利用	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	介護保険料収納率 介護サービスに関する満足度（3年に1度） 介護サービスに関する苦情受付件数		担当課	高齢者支援課
			担当係	介護保険担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～					新規・継続	継続	会計区分	特別会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
要介護認定被保険者（要介護1～要介護5）			要介護認定被保険者の負担した介護サービス費が高額になった場合について、所得や世帯の課税状態に応じて負担の上限額を設けており、該当者へ申請に基づき支給する。 申請は、1回提出すれば該当した月には自動的に支給手続きを行う。申請をされていない方で、該当する場合は案内文書を送付し手続きを促している。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
要介護認定被保険者のサービス給付にかかる自己負担を軽減する。										

4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称	単位	29年度実績	30年度実績	01年度当初	02年度要求	03年度計画	04年度計画	目標		
高額介護サービス費支給額	千円	128,313	140,450	130,494	140,450			140,000		

5. コスト										
事業費	計	千円	128,313	140,450	132,540	140,451				
	国	千円	32,078	35,113	29,225	30,660				
	県	千円	16,039	17,556	16,568	17,556				
	地方債	千円			0	0				
	その他	千円	35,928	37,922	35,786	37,922				
一般	千円	44,268	49,859	50,961	54,313					
正職員人工数	人工	0.5	0.4	0.4						
正職員人件費	千円	3,998	3,236	3,226						
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	132,311	143,686	135,766	140,451					

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	利用者の負担軽減に寄与できている。									
どちらかといえばあがっている										
あがっていない（停滞・低下）										

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成12年度の介護保険法創設により、介護サービス利用の1割の負担が高額になった場合に所得に応じて支給し、被保険者の負担を軽減するために設けられた。 税制改正その他により、高齢者被保険者が増加し、事業費も増加するものと思われる。									